

家庭科学学習指導案

指導者 安芸高田市立根野小学校 武添 寿子

- 1 日 時 平成26年7月1日(火)
- 2 学 年 第6学年 15名
- 3 題材名 めざせ!洗たくの達人
- 4 題材について

題材観

本題材は、学習指導要領の内容「C 快適な衣服と住まい(1)衣服の着用と手入れ ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができること。」を受けて設定した。衣服の着用や手入れは快適な生活のために必要な暮らしの営みである。その中で、本題材は手洗いを中心とした洗濯について取り扱い、実習などを通して、衣服の着用への関心を高め、衣服の着方や手入れについての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身の回りを快適に整えるために主体的に考え、判断し、行動できる力を育てることをねらいとする。

具体的には次の内容を取り扱う。

- ① 衣服には、保健衛生上や生活活動上の働きがあり、健康によく清潔に衣服を着用するためには、洗濯が必要であることを実感として捉えられようにすること
- ② 日常着の洗濯に必要な適切な洗剤の量、用具、洗い方などについて実感を伴って理解できるようにすること
- ③ 汚れの種類、汚れ方に着目し、汚れに応じた洗濯を工夫して行うことができるようにすること
- ④ 洗濯について学んだことを身の回りの生活に生かし、実践する児童を育てていくこと

児童観

本学級の児童は、事前のアンケート調査によると家庭科への学習への意欲が高く、家庭科が生活をよりよくするために役立つ教科であるという思いをもっている。本題材で学習する洗濯についても全員が「大切である」と答えている。しかし、家庭でシューズや服を自分で洗っている児童の割合は4割、洗濯物を干したり取りこんだりしている児童の割合は2割である。このことから、児童の意識として洗濯は必要であると感じているが、実生活において洗濯を日常的に実践しているとはいえない。また、事前のアンケート調査では、生活において自分で課題を見付け、計画を立て、行動に移すことができると答えた児童は2割、家庭での洗濯について課題意識をもっている児童も1名という現状である。

指導観

指導にあたっては、学習したことを実生活につなげていくことができるように、生活の課題に気づき、課題を主体的に解決していくことができる力を身に付けさせる手立てを工夫する。そのために問題解決的な学習の課題を見いだす「課題発見」の過程を明確に位置付け、児童の主体的な学びを引き出せるようにする。そして、実践したことを「評価、改善」し、振り返るという過程を通して、新たな課題意識を児童に生じさせ、次の課題解決に向かわせるようにする。児童に身近な生活から課題意識を生じさせるように、様々な条件で洗濯を繰り返す。また、洗濯の実践を記録できるワークシートを準備し、児童が課題を明確にし、課題を評価、改善していくことができるようにする。さらに、家庭での実践も取り入れ、家庭で行った実践から見いだした課題を改善していく学習の場も設定する。課題を解決する際には、調べ学習、演示実験等を効果的に取り入れ、自力解決や集団解決によって課題の解決方法を共有し、学習を深めるようにする。

5 題材のねらい

- 衣服の着方や手入れに関心を持ち、日常着を気持ちよく着たり、手入れをしたりしようとする。
(家庭生活への関心・意欲・態度)
- 衣服の手入れについて課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりする。
(生活を創意工夫する能力)
- 手洗いを中心とした洗濯ができる。
(生活の技能)
- 気持ちのよい衣服の着方と手入れの仕方が理解する。
(家庭生活についての知識・理解)

6 題材の評価規準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・衣服の働きや気持ちのよい着方に関心をもち、気温や季節の変化、生活場面に応じた着方をしようとしている。 ・衣服の手入れに関心をもち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。	・日常着を点検し、課題を見付け、気持ちよく着るための手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・手洗いを中心とした洗濯ができる。	・衣服を快適に着るためには洗濯が必要であることを理解している。 ・衣服の手入れの必要性が分かり、手洗いを中心とした洗濯の仕方について理解している。

7 学習計画（全10時間）

次	時	学習活動	関	創	技	知	評価規準	評価方法
1	1	・衣服の働きや着方に関心をもち。	◎				・衣服の働きや気持ちのよい着方に関心をもち、気温や季節の変化、生活場面に応じた着方をしようとしている。	ワークシート
	1	・気持ちよく衣服を着るために洗濯の必要性を理解する。 課題発見 計画				◎	・衣服を快適に着るためには洗濯が必要であることを理解している。	ワークシート
	2	・チャレンジ！洗たく名人（手洗い①）を行う。実践 評価、改善 課題発見 計画 ・ステップアップ！洗たく名人（手洗い②）を行う。実践 評価、改善		○		◎	・手洗い①を見直して課題を見付け、洗剤の量や汚れに応じた洗い方などを視点にして、よりよい洗濯の仕方について考えようとしている。 ・手順を意識した基本的な手洗いでの洗濯ができる。	ワークシート 行動観察
2	1	・ステップアップ！洗たく名人（手洗い②）を振り返り、パワーアップ！洗たく名人（手洗い③）へ向けて改善計画を立て課題を解決する。 【本時5／10】 評価、改善 課題発見 計画		◎			・手洗い②から見いだした課題を解決する方法を考えたり、自分なりに工夫したりしている。	行動観察 ワークシート
	2	・パワーアップ！洗たく名人（手洗い③）を行う。実践 評価、改善		○	◎		・手洗い②から見いだした課題を解決する方法をもとに、工夫して手洗いでの洗濯（手洗い③）ができる。 ・手洗い③を見直して課題をもち、さらによりよい洗濯の仕方について考えようとしている。	行動観察 ワークシート
	1	・パワーアップ！洗たく名人（手洗い③）を振り返り、家庭での実践へ向けて改善計画を立てる。 評価、改善 課題発見 計画		◎			・手洗い③から、見いだした課題を解決する方法を考えたり、自分なりに工夫したりしている。	行動観察 ワークシート

	家庭での実践	・家庭や学校でのレベルアップ！洗たく名人（家庭での実践）を行う。 実践					
3	1	・衣服の手入れについて実践報告会を行う。 評価、改善 課題発見		◎		・家庭での実践から見いだした課題を解決する方法を考えている。	行動観察 家庭実践シート ワークシート
	1	・衣服の着方と手入れの学習のまとめ（洗たくの達人認定式）を行う。			◎	・衣服の手入れの必要性が分かり、手洗いを中心とした洗濯の仕方について理解している。	テスト

8 学習の展開

(1) 目標

手洗い②から見いだした課題を解決する方法を考えたり、自分なりに工夫したりできる。

(2) 観点別評価規準

手洗い②から見いだした課題を解決する方法を考えたり、自分なりに工夫したりしている。

（生活を創意工夫する力）

(3) 準備物 ワークシート、掲示物（手順）、たらい、リットルます、洗剤（粉末・固形）、洗濯板、湯、洗濯ばさみ、物干し、洗たく試し用布

(4) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価規準 (評価方法)
1 前時までの学習を振り返り、手洗い②で見いだした課題の確認を行う。	○ 洗剤の量や種類の違いによる汚れの落とし方 ○ 汚れをよく落とす洗い方 ○ 汚れをよく落とす道具 など	
2 本時のめあてをつかむ。		
【めあて】パワーアップ！洗たく名人（手洗い③）へ向けて、よりよい手洗いの技をゲットしよう！		
3 事前に調べたことを基にしてよりよい手洗いの仕方についてグループごとに実習して調べる。	○ 実習 ・洗剤目分量作戦 →洗剤量の違いによる効果 ・洗剤変えよう作戦 →洗剤の種類の違いによる効果 ・つけおき作戦 →つけおき洗いの効果 ・お湯につけて落とす作戦 →お湯洗いの効果 ・スーパー手もみ作戦 →手もみ洗いの効果 ・タワシでゴシゴシ大作戦 →タワシ洗いの効果 ・洗濯板で汚れ落とし作戦 →洗濯板洗いの効果 ○ 洗剤や道具などは準備しておく。	洗 剤 洗 い 方 道 具 A 手洗い②から見いだした課題を解決する方法を主体的に考えたり、自分なりに工夫したりしている。 B 手洗い②から見いだした課題を解決する方法を考えたり、自分なりに工夫したりしている。 (行動観察・ワークシート)

4 調べて分かったことを報告し合う。 5 本時のまとめを行う。	○ グループごとに実習によって確かめられたことを発表し、手際よく汚れ落ちのよい手洗いに向けて効果のある方法を伝えられるようにする。 <予想される児童の反応> ・洗剤の量を多くしても汚れ落ちにあまり効果がない。 ・がんこな汚れには固形せっけんをぬるとよくとれる。 ・つけおきしたら汚れ落ちがよい。 ・お湯だと汚れ落ちがよい。 ・手もみ洗いは早く汚れが落ちた。 ・タワシは汚れをよく落とす。 ・洗濯板は汚れをよく落とす。	洗 剤 洗 い 方 道 具
6 汚れ落ちのよい洗濯の技を活用して、手際よく洗濯を行う。 7 本時の振り返りと次時の予告を行う。	【まとめ】 洗い方・洗剤・道具などを工夫すると、汚れ落ちがよくなり、よりよい洗濯ができる。 ○ 見いだした技を活用して、洗濯を行う。 ○ 落ちにくかった汚れについての課題意識をもたせる。 <予想される児童の反応> ・漂白剤というものを聞いたことがある。 ・早めに洗濯することが大切だ。 ○ 見いだしたよりよい手洗いの方法を活用して、「パワーアップ！洗たく名人（手洗い③）」を行うことを伝え、意欲をもたせる。	